

ライフプランニング学習副読本「考えようふるさと秋田とわたしの未来」 特別支援学校における活用状況調査集計結果（令和7年度）

調査対象：県内特別支援学校 15校（国立大学法人立：1校、県立：14校）

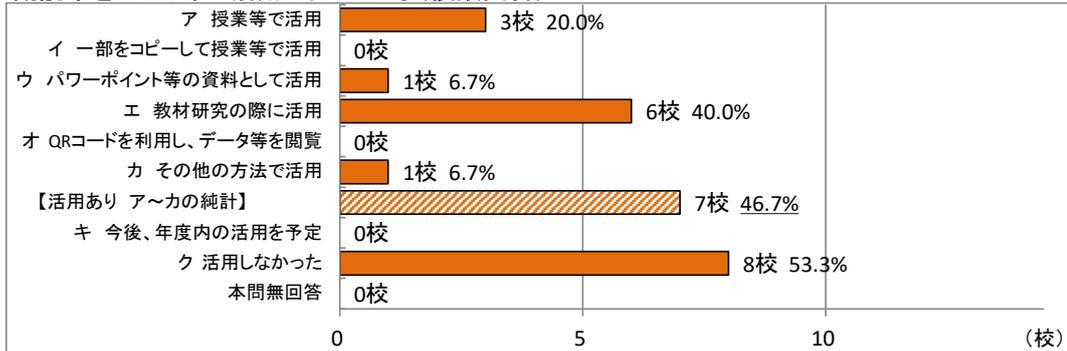
※分校を含む。

◎回答率 100.0%（回答15校／対象15校）

◎活用率 46.7%（活用 7校／回答15校）

問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※調査への回答があった15校中



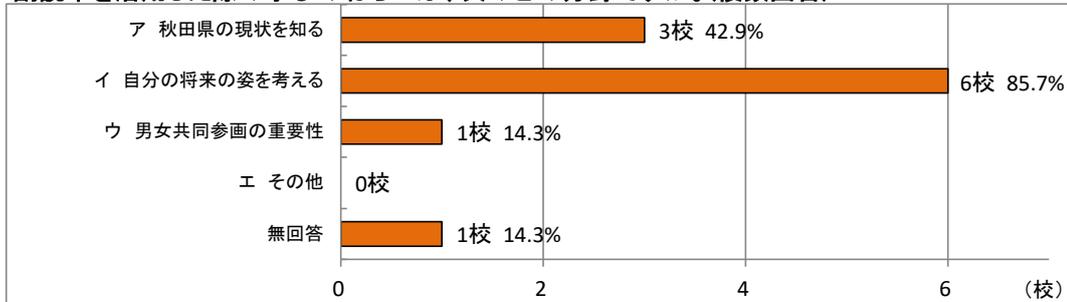
活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答
・生徒に配付した。

活用状況「ク 活用しなかった」の主な理由

- ・内容が難しかった。
- ・児童生徒の実態から授業で活用するのが難しかった。各学部、各学年の実態に応じた教材を使って学習した。
- ・児童生徒の実態、学習している内容と重ならなかった。
- ・副読本を活用する学習を、年間計画で立てていなかった。

問2 副読本を活用した際の学びのねらいは、次のどの分野ですか。（複数回答）

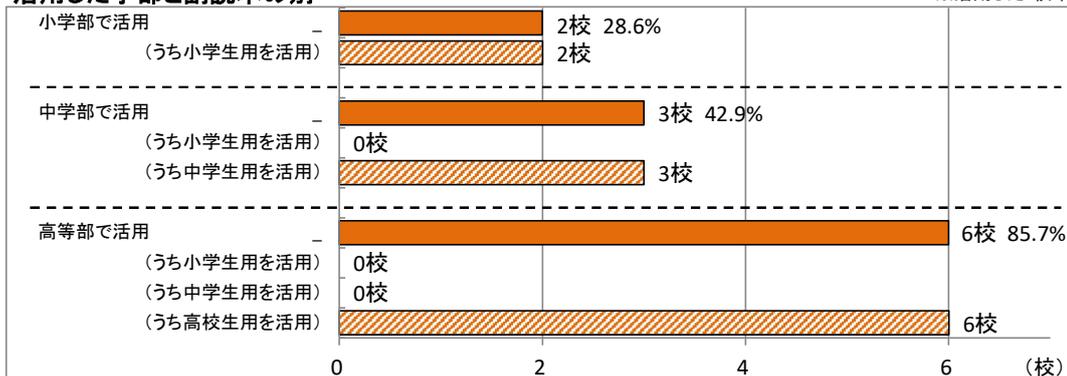
※活用した7校中



問3 活用した学部、副読本の別、活用した場面をお答えください。

活用した学部と副読本の別

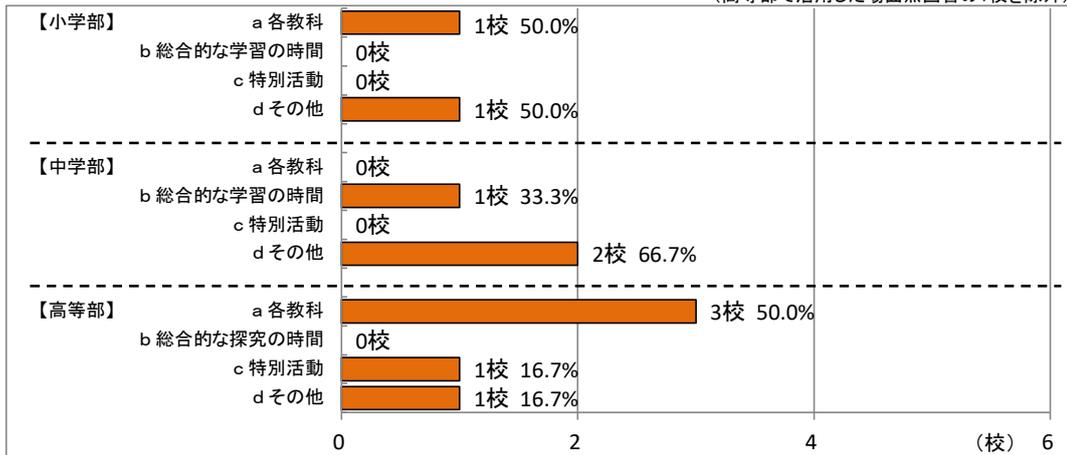
※活用した7校中



(続き:問3 活用した学部、副読本の別、活用した場面をお答えください。)

活用した場面

※学部ごとの活用した学校(小学部2校、中学部3校、高等部6校)中
(高等部で活用した場面無回答の1校を除外)



活用場面「a 各教科」の主な回答

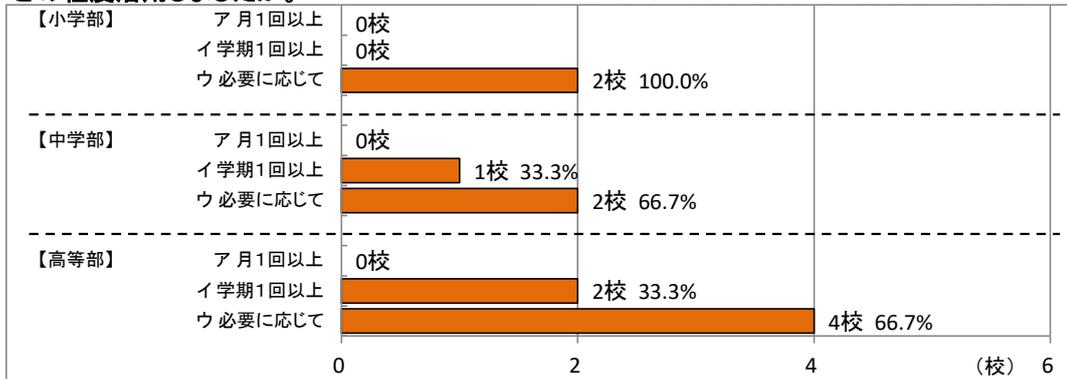
- 【小学部】・自立活動
- 【高等部】・家庭基礎、職業科

活用場面「d その他」の主な回答

- 【小学部】・生活単元学習
- 【中学部】・生活単元学習での指導内容の参考
- 【高等部】・生徒に配付

問4 どの程度活用しましたか。

※学部ごとの活用した学校(小学部2校、中学部3校、高等部6校)中



「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答校(中学部1校、高等部2校)中

活用頻度	小学部	中学部(1校中)	高等部(2校中)
一学期当たり1回程度		1校	1校
一学期当たり2回程度			
一学期当たり3回程度			1校

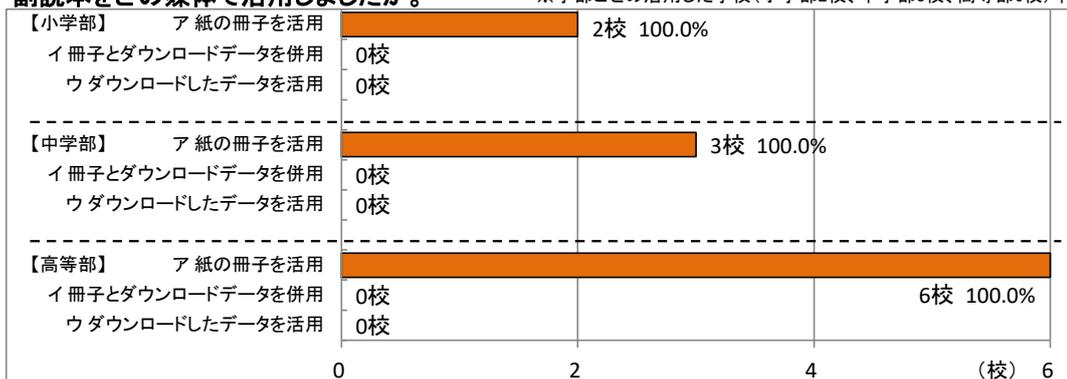
「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答校(小学部2校、中学部2校、高等部4校)中

活用頻度	小学部(2校中)	中学部(2校中)	高等部(4校中)
年間1回程度	1校		2校
年間2回程度			1校
年間活用回数無回答	1校	2校	1校

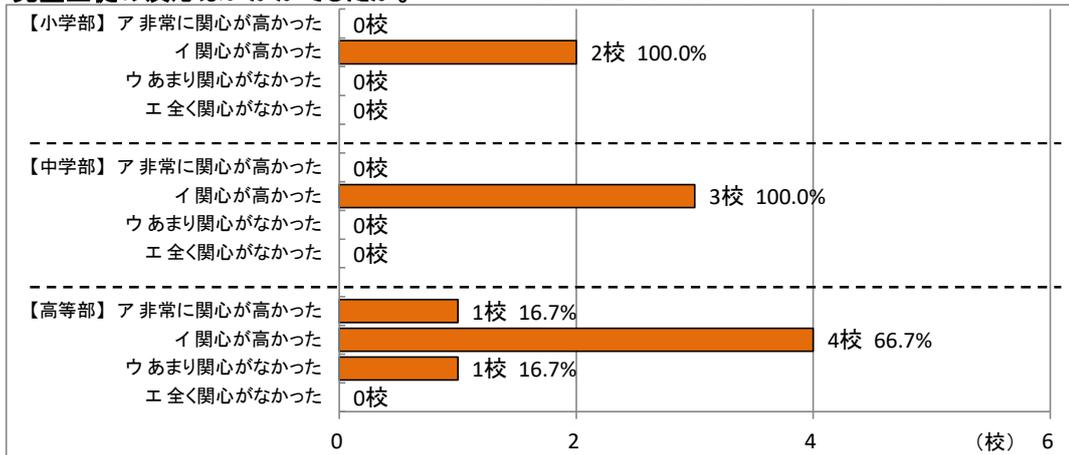
問5 副読本をどの媒体で活用しましたか。

※学部ごとの活用した学校(小学部2校、中学部3校、高等部6校)中



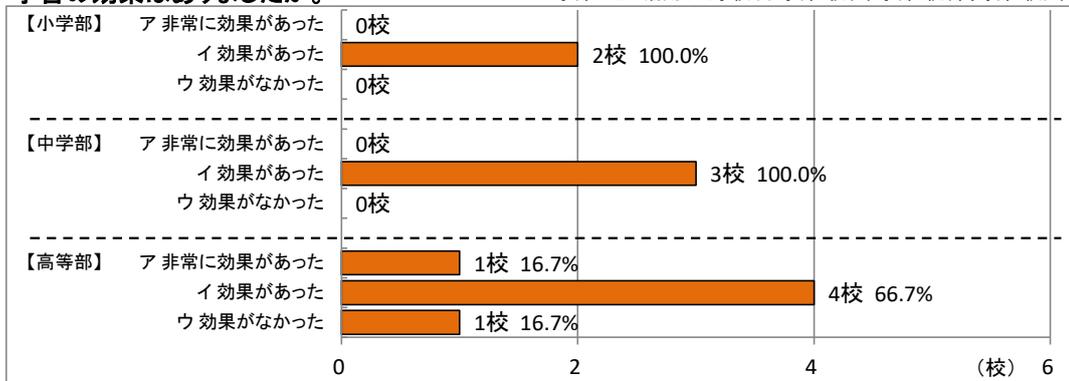
問6 児童生徒の反応はいかがでしたか。

※学部ごとの活用した学校(小学部2校、中学部3校、高等部6校)中



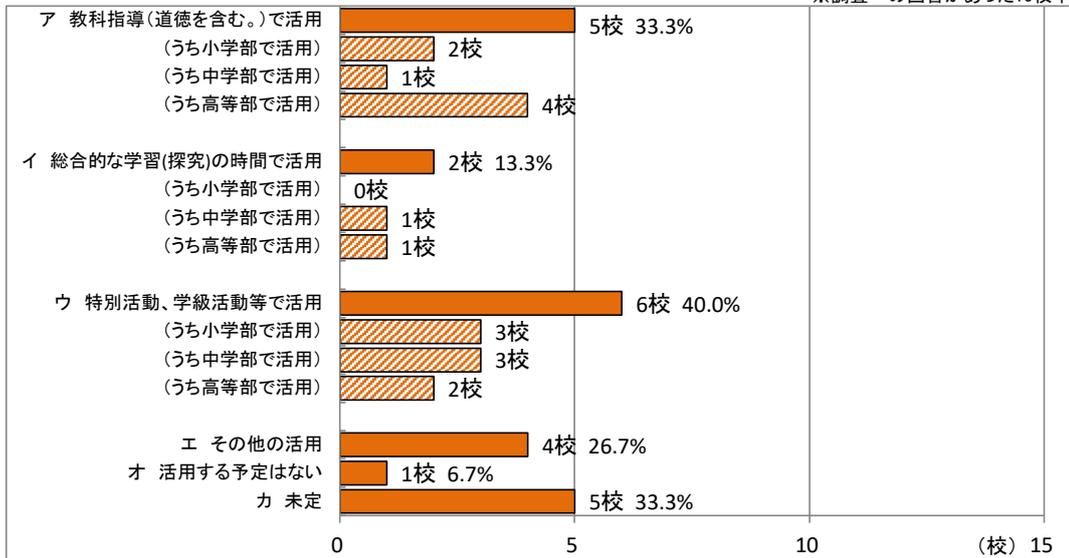
問7 学習の効果はありましたか。

※学部ごとの活用した学校(小学部2校、中学部3校、高等部6校)中



問8 令和8年度は、副読本をどのように活用する予定(活用したい)ですか。(複数回答)

※調査への回答があった15校中



※活用方法「エ その他の活用」の主な回答

- 【中学部】・生活単元学習
- ・配付する。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問9 副読本の内容等についての感想、意見等(特別支援学校・R7)」を参照

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（特別支援学校・R7）

<ul style="list-style-type: none">・ライフプランの記入欄があり参考となる。・生徒の実態を考えると、写真やイラストが多い方が理解の助けとなる。
<ul style="list-style-type: none">・小学部は、副読本自体は難しいが、「ふるさと秋田を知ろう」の部分が、教員の教材づくりのヒントとなった。・人との関わりを考える内容は、自立活動としても分かりやすく参考になっている。
副読本の内容によっては非常に参考となる部分もあるが、児童生徒の実態に合わせた教材を使用していくことで学習効果が期待できると考える。
道徳の内容とリンクしている部分があるので、活用しやすいのではと思いました。
児童生徒の実態に応じて、そのまま活用したり、授業づくりの参考にさせていただいたりします。
<ul style="list-style-type: none">・小学部の生活科や道徳の授業の資料として活用したい。（小）・特別支援学校の生徒が自立した社会生活を送ることができるために、「自分らしく生きよう」「自分の未来を考えよう」については、ぜひ今後、指導計画に設定していきたい。（中）・冊子の中に情報がたくさんあってガイダンスとしては良いが、指導の際、更に掘り下げて準備しないといけないため活用していない。（高）
秋田の課題について直接学習する機会はないが、地域のことを学んだり、貢献したりする学習は年間を通じて学校全体で行っている。副読本の内容は本校の児童生徒の実態からは少し離れているものの、地域を豊かにしたい、という思いは共通している。 興味がある本を手にとって読む生徒がいるので、図書コーナーで読めるようにするなど、管理方法などについても考えていきたい。また、学校独自にキャリアノートを作成し、1年間の目標設定や振り返りに活用している。ライフプランニングについては、副読本と考え方は同じなので、実態が合う児童生徒がいれば活用していける。
秋田県の長期的な課題について理解することができた。
見やすい構成でデータも秋田に特化しており、授業で活用しやすかった。生徒たちも自分の生活や将来に思いをはせている様子だった。結婚や子育てについては課題としては理解していたが、自分のライフプランと関連させるには遠い未来のこともようで実感がわいていない様子だった。その代わりに体験談（結婚が遅れて苦労したこと、子育てであつたら良かったサービスなど）を聞きたいという生徒が多かった。